

第 74 回明石市環境審議会 議事録

日時：令和 4 年 3 月 28 日（月）午後 3 時 00 分～

場所：明石市役所議会棟 2 階 大会議室

○司会（事務局H） 定刻となりましたので、ただいまより第 74 回明石市環境審議会を開催いたします。

本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。明石市環境審議会事務局長、地球温暖化対策担当課長の事務局Hでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

会議を始める前に皆様にお願いがございます。携帯電話及びスマートフォンは電源をお切りいただくかマナーモードに設定をしていただきますよう、お願いいたします。

では、はじめに資料の確認をさせていただきます。

本日の次第、資料 1 - 1、第 3 次明石市環境基本計画（素案）に対する意見。資料 1 - 2、意見を踏まえた第 3 次明石市環境基本計画への対応。資料 1 - 3、第 3 次明石市環境基本計画（案）。資料 2 - 1、明石市一般廃棄物処理基本計画（素案）に対する意見。資料 2 - 2、意見を踏まえた明石市一般廃棄物処理基本計画への対応。資料 3、明石市環境審議会自然環境部会報告。別紙 2、令和 3 年度海岸・河口域自然生態調査業務結果概要。別紙 3、令和 4 年度の自然環境調査について。別紙 4、特定外来生物（ナガエツルノゲイトウ対策）。それと本日、机上配付しております「明石市の大切にしたい生きもの～明石市レッドリスト～ガイドブック」。

以上でございます。資料の不足等はございませんでしょうか、よろしいでしょうか。

本日の審議会ですが、審議会委員 16 名中、13 名の出席をいただいております。

委員G、委員K、委員Oにつきましては、所用のため欠席でございます。

過半数の出席をいただいておりますので、明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例施行規則第 23 条第 2 項の規定に基づき、本日の会議は有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

ここからは、委員Cに議長をお願いしたいと思います。委員C、よろしくお願いいたします。

○委員C どうも皆さん、こんにちは。ここから私が進行を務めさせていただきます。

今日の議題ですが、次第にありますように、明石市環境基本計画と明石市一般廃棄物処理基本計画の2つでございます。あと、自然環境部会の報告になっております。

今日は5時までですが、時間も限られますので、委員の皆様には協力をよろしく願いたいと思っております。

議題1、第3次明石市環境基本計画につきまして、事務局より報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局 環境総務課の事務局Jでございます。

資料1-1から1-3について、順次ご説明をさせていただきます。

まず、資料1-1を御覧ください。第3次環境基本計画（素案）に対する意見ということで、パブリックコメントと市議会にて頂いた意見をまとめております。

(1) パブリックコメントですが、昨年12月20日から1か月間させていただきました。結果、6名の方から14件ご意見を頂きまして、意見内容としましては、脱炭素社会実現に関するものが6件、多くのご意見を頂いております。

14件に対する意見と市の考え方を表にて整理をさせていただいております。

左肩のナンバー1、2が、ウエディングケーキモデルについてのご意見でございます。「環境を土台にして経済・社会を整えていく」という考え方がとても分かりやすいというご意見を頂いております。

3番から8番が脱炭素社会実現に関するご意見でございます。例えば3番ですと、どのようなスケジュールで、どのような対策を行うのか、4番ですと、具体的な目標値はどうするのかとか、あと5番から8番は、具体的な施策について提案を頂いているところでございます。これから建設予定の市役所の新庁舎についても、ゼロエネルギー庁舎を目指していくべきではないかというご意見も頂いております。

施策の基本的な方向性については、今回の基本計画の中で書かせていただいておりますが、より具体的な施策や目標に関しては、次年度予定しております地球温暖化対策実行計画で検討し、今回の意見をできるだけ反映していきたいと思っております。

4ページのナンバー9が循環型社会に関するご意見で、ごみの削減についてでございます。特に企業や市民に対しての働きかけが重要であるという点でございます。こちらにつきましても、今回の基本計画の中でも、基本施策の1つとしてごみの減量を挙げておりまして、市民や事業者とのパートナーシップにより推進していくこととしております。

10 番が自然環境の関係です。例えば、明石公園とか大久保北部などの貴重な自然が残っている部分を守っていくべきというご意見を頂いております。

市の考え方としまして、基本計画の中で、まとまりのある自然の保全や生物多様性の保全などの緑の質を向上させる取組を通じて、人と自然が共生するまちづくりを進めていくこととしております。

11 番は分野横断的なご意見になりますが、サステイナブルな取組や施設のモデルケースをつくることを明石でも実施してはどうかというご意見でございまして、例えば、岡山の西粟倉村にある、地域資源である木材を使って、持続可能な取組をたくさん取り入れたあわくら会館という施設についてご紹介いただいております、明石でも例えば、フリーエネルギーとか地域の資源を使った庁舎、施設、自然を活用した食やエネルギーの地産地消を実践する団体や学校など、モデルケースをつくる点を盛り込んでどうかというご意見でございます。

後ほど反映箇所についてご説明させていただきますけれども、SDGsに貢献することが今回の環境基本計画の柱となっておりますので、そうした持続可能なまちづくりに資する施策を市や公共施設において、地域のモデルとなるように率先的に取り組むことが重要と考えております。それに対応する意味で「市や公共施設において率先して取り組む」という点を、市の環境行動指針に追加させていただいております。

また、具体的な取組については、ご意見を参考とさせていただいて、今後、検討を進めていきたいと考えております。

12 番は、ワークショップでの市民の皆様からの意見を、最後の参考資料としてまとめさせていただいております、そうしたところを、私もできることから始めようということで、すごくよかったというご意見を頂いております。

最後、13 番と 14 番が原子力に関するものでして、エネルギー政策も一部係りますが、特に安全性とか原子力災害に備えた対応をどうするのかというご意見を頂いております、こちらにつきましては、特に原子力災害につきましては、市で地域防災計画がございまして、それに基づいて対処することにさせていただいております。

以上が、パブリックコメントで頂いた 14 件の御意見と市の考え方でございます。

最後、6 ページ目に、市議会の生活文化常任委員会、昨年 12 月 9 日に、この素案について御説明をさせていただきまして、その際にいただいたご意見でございます。

20 ページに「めざす環境像」で、ウエディングケーキモデルの図の使用に関するご

意見でございます。今回、環境基本計画の策定にあたり、市の総合計画であるあかしSDGs推進計画と整合を図ることとしておりますけれども、総合計画を策定する議論の中で、ウエディングケーキモデルの図を用いて、環境が持続可能でなければ、社会経済の持続的な発展は成り立たないと書いてしまうと、それは違うだろうという議論があり、総合計画ではウエディングケーキモデルの採用を見送ったという経緯がございます。

総合計画での結論を踏まえると、環境基本計画でウエディングケーキモデルを使うことが違う方向性になっており、市民にも誤解を招く可能性があるのではないかというご意見でございます。

資料1-1は以上でございます。

資料1-2と1-3は素案からの修正点になります。資料1-3でご説明させていただきます。

資料1-3の計画（案）です。2ページが、赤字の部分ですけれども、前回、「（仮称）あかしSDGs推進計画」となっていました。正式名称に修正をさせていただいております。

続きまして、第2章の7ページでして、図2-3、人口の推移と将来推計で、こちらも総合計画のSDGs推進計画から引用しております。こちらも数値が少し見直しになっておりまして、若干上方修正になっておりますので、それに合わせて図も差し替えをさせていただいております。

続きまして、13ページになります。温室効果ガス排出量のグラフと数値ですが、前回、速報値でしたけれども、今回、確報値になりました。前回、1,518だったのが1,519と、1,000トンだけ修正になっておりまして、それに伴って削減も17.5%で修正をさせていただいております。

下の13ページの図2-12に関しまして、出典の資料をより正確な表記をさせていただいたところがございます。

最後、第5章の39ページです。先ほどパブリックコメントで、サステナブルな取組をモデル的にやっていくご意見への対応といたしまして、市の環境行動指針の中で、特に「SDGsの理念である環境・社会・経済の統合的な向上が図られるよう」の後に、「市や公共施設において率先して取り組む」ということで、反映をさせていただいております。修正点は以上になります。

資料1-2に戻っていただきまして、右肩に原案とございます。こちらが、20ページにある「めざす環境像と計画の基本理念」に関するページです。ウエディングケーキモデルにより、環境・社会・経済の統合的な向上を示しつつ、めざす環境像を描いている部分になります。

さきほど申しましたように、パブリックコメントでは、大変これが分かりやすいというご意見を頂いた一方で、市議会では、総合計画との整合を考えるべきというご意見がございました。

そうしたご意見を踏まえまして、原案を含めてでございますが、事務局で案を2つほど追加で提示をさせていただいております。

まず、案1です。文章は同じでございます。下の図だけが変わっています。こちらは総合計画で使われている図になりまして、環境・社会・経済の三側面に総合的にバランスよく、相乗効果を生み出すように取り組むというイメージを表したものです。総合計画との整合を図るという意味でこの図を使うものが案1になります。

次、案2です。こちらは、特に環境側面を意識しまして、環境側面から社会や経済に統合的な向上や好循環を生み出していくイメージを表現したのになっております。

以上を2つ追加の案として提示をさせていただきます。市民の方に理解していただきやすいものとなるよう、改めてご審議をいただければと思っております。説明は以上になります。

○事務局H 少し補足をさせていただきたいです。ウエディングケーキモデルが出ているのが計画（案）で3ページと20ページになっておりまして、3ページはコラムとして紹介させていただいているものですので、ここは残すというふうに考えています。20ページは、これが計画の基本理念となりますので、ここの図をどうするか、ご議論いただけたらというのが事務局の考えでございます。

○委員C 今、1-2で修正を伺いまして、第3章のウエディングケーキモデルを先にやって、後、ほかのところに入りたいと思いますが、よろしいですかね。ウエディングケーキモデルは、3ページは残すということで、20ページのところは、とにかく変えるということでよろしいですね。

○事務局H 変えることが前提ではなくて、もう一度、原案を含めて議論いただけたらと思っております。

○委員C 原案も入れて、3つの中から選ぶということで考えたらよろしいんですね。

○事務局H はい。

○委員C 分かりました。

ということで、今のウエディングケーキモデルを入れることと、今、説明にありました1-2の案1と案2、案1は3つがバランスよくということで、案2はウエディングケーキモデルに若干近いということで、環境がベースで、好循環を全部果たすということで、環境が少し強くなっているということで、あと、ウエディングケーキモデルは、環境が非常に強いということであるということです。

明石市の環境基本計画からすれば、原案の20ページのウエディングケーキモデルがいいのかなという気もいたしますが、それは行政との計画の整合性とか、いろいろあるかと思います。

皆さんにここでご意見を伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員L まず、議論する前に、教えていただきたいところがございます。資料1-1の6ページ、ウエディングケーキモデルについて。環境が持続可能でなければ、社会経済の持続的発展は成り立たないと書いてしまうと、それは違うだろうという議論があったということですが、どういう意味なのか分からないので、教えていただけますか。

○事務局H 手元に議事録がないので、私の記憶になるんですけど、バランスだろうということ。社会と経済と環境のバランスが大事で、環境が土台になるのは違うだろうということだったかと記憶しています。

○委員L 環境が土台になるんですよね。それは違うだろうという議論が、どこから出てくるのか分からないのが1つ。

それから、バランスということですが、現状は経済が強くて、環境がおかしなことになっているという現状はあるので、ですから、今のままのバランスを続けていくのであれば、先はないということがありますが、この辺りの議論はあったのかどうか、あるいは生活文化常任委員会の委員の方に、この認識があたりだったのかどうかというのを確認させていただきたいですが。

○事務局H 生活文化常任委員会におきましても、3つのバランスが重要だろうと言われておきまして、その認識があったかどうかになると、その議員さんの考え方になってきますので、そこは承知しておりません。ここに書いています点は、委員会でおっしゃったことを文字として起こしたものとなります。

1つは、上位計画である総合計画と整合を図るとしたら、今、提示しております案1

は総合計画で採用された図になります。

もう一つは、3つのバランスが大事だろうとおっしゃっていたので、案2を事務局で、オリジナルで考えたものですが、提案させていただいたということです。

○委員C こうなってくると、考え方というか価値観の違いで、多分これはいろんなところで議論されていて、なかなか落ち着き先がないと思います。

ただ、市のあかしSDGs推進計画ではバランスを取るということがあるということですが、これは環境基本計画でありますので、委員Lがおっしゃったような形で、このウエディングケーキモデルになるほうが私はいいと思うんです。

ですから、3つのバランスを取るということではあるんですけど、それが環境基本計画になるという時点で、環境から見るとこういうふうになるということで、総合計画にある3つのバランス、環境と社会と経済が円になったやつ、これを、環境を下に持ってくる認識で進めているということで、私はそういう意味でいけば、現計画の図の3-1、20ページにあるほうでいいのかなという気がしますけど、皆さんいかがでしょうか。どなたでも結構です、お願いいたします。

○委員I 私も異議ありません。本当にそのとおりだと思います。

○委員C 委員E、お願いします。

○委員E SDGsにも出ておったんですけども、実際のところ私自身が記憶しているのは、それは違おうだろうといふことまでの意見はなかったような記憶はしているんですけども、議事録をきちっと見てみないと分かりませんが。

ただ、非常にたくさんの方がメンバーでおられまして、いろんな話の中で出てきたと。私のほうは、やっぱり環境がベースになるんじゃないかということは、発言はした記憶はございます。何かその辺がすっと話の中で流れてしまって進んでいったような記憶があるんです。

個人的には、私はSDGsの上位計画があつたとしても、ここは環境基本計画ですので、ここで話をしてきたこのウエディングケーキモデルが一番いいのではないかなと思っております。以上です。

○委員C ただ、議事がどういうふうになっているのか、議事録とか何かニュアンスがどういうふうになっていたのか、委員Eのお考えだと、イメージがちょっと違うし、市の報告もちょっと違うような気がして、何が本当かよく分からないようなところがあるので、また、議事録を見ていただければ分かるということですよ。

○事務局H 三側面のバランスとか、環境が一番重要という考え方が違うだろうという議論があったのは、SDGs推進特別委員会です。委員Eが参加されていた審議会ではあったのかどうか、そこは承知してないですが、そういう意見があったのは特別委員会の話です。すみません、説明不足で、申し訳ございません。

○委員C 分かりました。

○委員L 特別委員会は議員さんですか。

○事務局H そうです、議会のほう。

○委員L 分かりました。だから、議員さんの委員会でそういう意見が出たので、図を変えましょうかという案が、今出てきているわけですね。

○事務局H 特別委員会で、ちょっと違うだろうという意見があって、そちらの資料の図が、ウエディングケーキモデルから案1で示した丸い図に変わったという経緯です。総合計画では、そういう経緯で変わったということです。

○委員L 資料1-1の意見、パブリックコメントのナンバー1とナンバー2。つまりパブリックコメントは、これがすごく分かりやすくていいというご意見も出てきています。だから、一部の議員の方の意見で、これを換えることが適当かどうかというのは疑問だなと、率直に申し上げて思います。

○委員C 分かりました。

先ほどから話しているとおりでありますから、このウエディングケーキモデルを採用するということがよろしいですか。環境基本計画ですから、福祉の計画とか交通の計画とか産業計画とかいろいろありますので、総合計画で示されているこの3つの○が書かれたやつ、これをどういうふうに重点を置くかというのは、それぞれの計画で多分変わってくると思います。

ベースのところは、明石のようにバランスを取るということで、それは技術開発もあれば、コミュニティーもあるとか、それで三側面でちゃんとやっていくことで、ベースには環境があることは間違いないので、明石市環境基本計画であれば、現在の20ページの案にすることでよろしいでしょうか。

そうしましたら、案の1と2をつくっていただきましたけど、現在の20ページのような図にすることでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。これは、こういうふうにさせていただきます。

ほかのご意見で修正したところが、資料の1-2のところ1ページ分あるんですが、

でしょうか。ほかよろしいでしょうか。よくできていると思いますが、どうでしょうか。皆さん、感想でも伺いますが、よろしいでしょうか。

○委員M 細かい指摘ですけども、13 ページで、温室効果ガス排出量の数値を更新したということで、1,519 になっていますが、括弧が速報値のまま、これ確報値。

○委員C すみません。ありがとうございます。

○委員N ウエディングケーキモデル、非常にいいと思うんです。ただ、印刷の関係か、17 の目標がほとんど見えないです。すごく熱心な方は、これを見たら分かると思いますが、一般の人が対象ですので、はっきり分かるようにしてもらわなかったら、全然意味がないと思います。よろしくお願いします。

○委員C 分かりました。20 ページと3ページの四角に入って、17 のやつの目標が分かるような形で、頑張ってもらいたいです。

○委員N ゴールのロゴに関しても、17 のゴールロゴがいっぱい出てきますけども、ほとんど潰れてしまっていて、何のためのゴールか分かりませんので、よろしくお願いします。

○委員C 肝心なところと言うのは、48 ページとかに新聞の図もあるんですけど、これも何とか読めるところは読める、読めないところは読めないですけど、これはこういうことでいいかなと思いますので、重要なところはそういうふうにさせていただきます。特にウエディングケーキモデルのところは、目標をはっきり書いて、見えるようにします。事務局のほう、よろしくお願いします。

○委員L これは、今回はコピーなのでこうですが、実際に冊子になったときは、もっと見やすくなるということだと思っていたのですが、いかがでしょうか。クリアになるというか。

○事務局J 実質、印刷版はこの形で想定してまして、今、ご指摘いただいた画質とか、その辺りできるだけよいものになるように努力をさせていただきます。

○委員H 提案ですけども、17 の目標を、全てのページで全部読めるようにするのはスペース的にも難しいと思うので、どこか1か所代表して、1ページにでも全部17目標をぎりぎり拡大したものを載せておいたら、番号だけ見たら、裏の表紙を見れば分かるとか、そんな方法でも取ってもらったらと思いました。

○委員L 17の目標は出ていませんでしたか。

○委員H 出てないです。

○委員C 3ページの後ろに17の目標を1ページ入れるかしていただくことで、全体の目標がちゃんと分かるように、その内容も書いていただいて、1ページぐらいに収まるようにして、それでよろしくお願ひしたいと思ひます。

もし、何か気づいた点というか、誤字・脱字とか抜けたところがあれば、事務局に言っただけで、この計画の原案につきましては、一応これで済ませさせていただきます。よろしいでしょうか、どうもありがとうございます。

議題2、明石市一般廃棄物処理基本計画について、よろしくお願ひします。

事務局から説明をお願ひします。

○事務局E 資源循環課長、事務局Eでございます。

2番、明石市一般廃棄物処理基本計画について、資料2-1及び2-2を続けて御説明させていただきたいと思ひます。

資料2-1です。こちらは、明石市一般廃棄物処理基本計画の素案に対するパブリックコメントです。3名の方から11件の意見を頂いております。整理すると、1番から3番までが同じ趣旨の意見です。

これは、計画の2ページにコラム欄がありまして、資料2-2の話になります。先ほどの明石市環境基本計画と同様ですが、環境・社会・経済の三層構造を示している図です。1番から3番ともに、分かりやすくよいというご意見を頂いております。市の考え方としましても、ご意見を頂きまして、今後、循環型社会の実現を目指して、計画を推進してまいりますと記入しております。

4番から10番まで、4から6では、紙ごみの回収の回数を増やせないかというご提案でございます。8、9では、コンポストの助成金や、そういった支援を進めてほしい。10では、紙おむつのリサイクルの提案等がございます。

これらをまとめて市の考え方としましても、資源化に関する提言を頂いておりますので、今後、貴重なご意見といたしまして、これを参考に施策運営を進めさせていただきたいと書かせていただきました。

最後、11番です。こちらはオンライン提出の関係で、今回のパブリックコメントにおける方式の件です。これにつきましてはご意見を参考にさせていただきまして、次のパブリックコメントに向けまして、その環境を整えるようにしてまいりたいということで考え方を整理させていただいております。

裏面になりますが、先程の明石市環境基本計画と同様に、委員会でいただいた意見と

して、資料2-2にあります環境・社会・経済の3層構造を示したツリーの環境が一番根底にあるという形について、先程もありましたが、明石の現在のSDGs推進計画では、バランスが大切であろうという意見がございました。

これを受けまして、資料2-2で、原案としては、環境・社会・経済の3層構造を示したツリーで、パブリックコメントでもこれがいいと、すばらしいというご意見を頂いております。

また、修正案1、2として、先ほどの明石市環境基本計画と同じで、三側面のバランスを重視とした2案になります。

こちらも、原案として、このままで問題無いということでしたら、このまま作成いたしますので、ご審議お願いいたします。以上です。

○委員C こちらもSDGsのモデルの図ですけど、この原案で、環境が「根に最も近い層」で「全ての根底であり」という文面のついている原案でして、そのままにするということでもよろしいでしょうか。よろしいですね、分かりました。

この原案のままでいくということで、廃棄物でやっていくということであります。

委員E、お願いします。

○委員E この案とも違うんですけども、環境基本計画がありまして、その下に個別計画が3つあって、1つが今回の一般廃棄物処理になるかなと思います。ですから、逆に言ったら、環境基本計画はウエディングケーキでいこうということであれば、それぞれの個別計画がばらばらの形よりは、全部統一したほうがいいのではないかなと個人的には思いますが、皆さんいかがでしょうか。

あと、この後にまた温暖化であるとか、生物多様性であるとかも3つ出てきますので、その辺のことも考えて、整合性であるとか、環境としてはこういうのを一本にして、こういうイメージでいくよというほうが、分かりやすいのではないかなと思いますけれども、よろしくをお願いします。

○委員C 意味は同じですけど、環境基本計画が20ページにあるような形になっているということですから、その個別計画である一般廃棄物処理基本計画も、環境基本計画の原案から用いる形にしたほうがいいのではないかというご意見があります。

どういたしましょうか。どちらでも結構ですが、これは一般廃棄物処理基本計画のどこでしたかね。

○事務局E 2ページの一番最初の「策定に当たって」というところで、そこでコラムと

して使わせていただいています。

○委員C そのコラムですか。

○事務局E あくまでコラムなので、環境省の資料から引用したもので、もちろんウエディングケーキとは形は違いますが、環境が土台であるのは、意味は一緒でございますので、廃棄物の計画はこちらでいかせていただいたらと思っております。

○委員C ご意見はどうでしょうか、どちらでもいいかと思うんですけど。

○委員L 委員Eのご提案は、本当にむべなるかなと思いながらお聞きしていました。今の一般廃棄物処理基本計画（案）の2ページは、環境白書から取りましたというお話でした。一般廃棄物処理基本計画では、このほうがいいというのだったら、これで行ったらいいと思いますし、そうでないのでしたら、環境基本計画の3ページのコラムを持って来る、そういうことになるのかなと思います。

どこが違うかということ、ガバナンスをすごく強く出しているのが2ページです。一般廃棄物処理基本計画にガバナンスという観点がすごく大切だったら、このままいくしというところで考えてみてはいかがかなと思ったのですが、委員の皆様にご意見をいただくことですが、比較した場合に、ガバナンスのところをすごく強く出ているなと思いましたので、これが必要なら今の原案のままだし、そうでなければ、さっきのご提案と思いますが、いかがでしょうか。

○委員E これ、一般の人、市民の方が見たときに、やっぱりSDGsはこういうふうなものだよと、まず視覚で訴えるのがすごく重要なかなと思います。そういう意味で、ウエディングケーキモデルが一番分かりやすいかなと私は思ってたんです。ツリーのほう、先ほど委員Lがおっしゃったガバナンスという言葉が非常に入って、ガバナンスは幹という例えになっているので、これはもっと詳しく説明しないと、市民は当然分からない話ではないかなと思います。

ですから、SDGsとは、こういうものだよということで、私個人的には、環境基本計画に関する、個別計画に関するものは、全てこのウエディングケーキモデルで一本化したほうが、やっぱりイメージとしては全部同じことで、一般の人でも分かりやすいのではないかなと思います。

○委員C 誰が見ても分かりやすくという点を、委員Eがおっしゃいましたので、環境基本計画の3ページのコラムを、一般廃棄物処理基本計画の原案に持って来ることにするということよろしいですか。事務局はどうですか。

○事務局E 問題ありません。

○委員C 事務局はそういうことですが、皆さんの意見はどうでしょうか。

○委員I いいと思います、今おっしゃったことで。

○委員C そういうことで、一般廃棄物処理基本計画の原案を、この基本計画の3ページのものを持ってきて、ウエディングケーキモデルに直すということで、全部整合が取れることにさせていただきたいと思いますが、どうでしょうか。

○委員D 1ついいですか。私も基本的にはそれに賛成ですけども、先ほどから言っていますようにガバナンスの問題、この具体的なところ「不平等の是正」とか「法制度やパートナーシップ等」と書いてありまして、これは廃棄物処理の局面で出てくる話ではないと思います。だから、ここでガバナンスが出てくるのは分かりにくい。そういう意味で、ウエディングケーキのモデル使ったほうがいいと思いますが。

ただ、このウエディングケーキモデルでは、「環境」が「生物圏」と書いてあるんですね、「BIOSPHERE」。廃棄物なんかを考えると、生物圏というよりも大気とか、そういうことのほうが重要なので、説明を工夫して、環境がイコール生物圏そのものというような誤解を招かないようなことを、ちょっと説明を加えたらどうでしょう。

○委員C ウエディングケーキでいけば、英語でいくと「BIOSPHERE」で、生物圏に近いような形になって、「ENVIRONMENT」にはなっていないということですが、それを改変するというので、ウエディングケーキモデルを改変ということ、改変になるのかどうか分かりませんが、この環境を「ENVIRONMENT」にするという形で処理することもいけるんですか。これはどうでしょうか

○事務局H 図の中の四角で囲った「経済」、「社会」、「環境（生物圏）」は、事務局で日本語を入れた分です。「環境（生物圏）」が「BIOSPHERE」の和訳として使われている言葉になっていまして、それをそのまま引用しています。

もし、これを変わるとなると、日本語を全部消すか、「生物圏」だけ消すのは、ちょっと出典元とは違う意図になってしまうのかなと思いますので。

○委員C それを改変とか何か修正で、ウエディングケーキモデルの修正にして、そこを「環境」にするというイメージもありますか。

○委員D そもそも、これ英語を「ECONOMY」とか「SOCIETY」にしても、入れる必要はないですね。

○委員C では、英語を抜いて、「生物圏」を外しましょう。それでいいですね。

○委員D 出典はこれで問題ないと思うんです。ただ、英語を日本語にするのはごく普通にやることですから、別に今、一部改変はつけてもいいですけど、別に改変するわけではないので、私、英語を省くだけでいいと思うんです。

○委員C 原書に戻ると「BIOSPHERE」になってるということで、生物に近いということがあるのではなからうかということなんですよ。

○委員D BIOSPHEREを、非常に広く、生物が暮らす、環境も全部含める。

○委員C 環境ということで捉えるということで、分かりました。

○委員D そうですね。

○委員C 分かりました。ありがとうございます。

そういうことで、もう英語の表記は取るということで、「経済」、「社会」、「環境」で3つ言っていることでもありますので、それで英語を外すことにしようということではいかがでしょうかということです。皆さんどうでしょうか。外してもいいかなとは思いますが、よろしいでしょうか。

○委員L 横の説明の「環境（生物圏）」を、もし図から外すなら文章からも外す必要があると思います。一般の方が生物圏ってお聞きになると、どうしても動植物というか、生命がある生態系みたいなイメージですけど、実は生物圏とはもっと広くて、水とか大気とか、そういうものも全部含めているんですが、それに対応するいい日本語がないとすれば、「環境」でいいのではないかというのが、今の結論かなと思うんです。もしそうされるんなら、文章の「(生物圏)」も除いていただく必要があるかなと思いました。

○委員C 日本語で「経済」、「社会」、「環境」にして、「生物圏」は外すということで、文章の中の「環境」は、基本計画の3ページのほうで、そういうところも外していくことにさせていただきます。

20 ページは、多分外すだけで大丈夫かなと思いますが、そういうことで修正したいと思いますが、それでよろしいですね。ありがとうございます。

最後にもう一回整理いたします。環境基本計画にあります3ページのコラムの図は、「経済」「社会」「環境」で、文面も「環境（生物圏）」になっているところは「環境」に合わすということで、20 ページはそのままださせていただきます。

それと、一般廃棄物処理基本計画の原案と書いてあるものも、環境基本計画の3ページの修正したものを入れることにさせていただきます。事務局、よろしいですか、そ

れで。そうしましたら、それにしたいと思います。

ほかに何か御意見がありますでしょうか。

○委員P 先ほどのところで言い損ねたので、今、宿題として言いたいですけれども、これだけ図のことでこだわっていますので、今回、42 ページの下のネットワークの図式が、ぱっと見てネットワークを感じられないような図になってて、「エコウイングあかし」、「プラットフォーム」の上に4つお団子が乗かってて、これ見ただけで、縦も横もネットワーク化されてない図式なんです。

これ、前もそう思っていたんですけど、本当に市とか行政とか市民団体とか市民が本当にネットワーク化されて進んでいる計画なのかがうかがえないので、図の示し方をもう一度考えてほしいです。

もう一つ、38 ページの真ん中ぐらいで、市民と市民団体の環境行動の指針の文章の一番最後、「市民団体は、市と市民の橋渡し役として」。これ、市民活動をされたことがない人が書いている文章ではないかと、適当にいいような言葉を使ってらっしゃるんですが、本当に市民活動をずっとやっていて、例えば、環境の市民団体たくさんあると思いますが、別に環境部の下請で動いているわけではないです。自分たちの会費を集めて、1年間の計画立てて、綿密なる行動をしている。その中で、この1行だけで済まされている文章は、今どきの文章ではないと思います。

例えば、市の行政、環境部ができないことを、きめの細かいことを市民団体は見えないところで動いています。そういう人の気持ちとか、参加している人の、例えば生涯学習だったり、要素的には広いものを抱えて市民活動をやっているつもりなので、この一文だけを、もう一度考え直してほしいというか。

ある程度環境部と、例えば市民団体といい距離感とか、そういう部分では動いているとは思いますが、何かこれちょっと違うような気がしますので検討お願いいたします。以上です。

○委員C 今、38 ページですけど、これは多分、明石市として行政計画として書くから、こうなってしまうところはあると思うんですけど、ただ、市民団体は市の行政と対等な立場で書いていただいて、それで環境問題の解決を図ることでやっていってるニュアンスで書いて、市と協力して一緒にやっていくことも、当然対等というか、そういうことで出てくることかと思しますので、そういうニュアンスを入れていただいて、対等という形で、一緒に考えることを強調するようなことで、文面は少し修正してい

ただければと思います。

あと、42 ページのところ、多分これは線を入れるとか、四角を二重にするとか、何か矢印入れて、もう少しネットワークの図になるような形でもう一遍書き直して、修正していただくことで、いろんなところにこういうネットワークの図あるかと思いますので、それで修正していただいて、特に委員Pとのやり取りで進めていただければと思いますけど、よろしいですかね。

○委員P はい。

○委員C そういうことでよろしいでしょうか、ほかの委員の方。ありがとうございます。事務局、それでよろしいですか。ありがとうございます。

3 番目の議題に入りたいと思います。自然環境部会の報告をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員D 自然環境部会の第 22 回は 2 月 2 日に行いました。その内容です。

1 番目は、「明石市レッドリストガイドブック」についてです。

お手元にこういう資料が配付されていると思いますが、「明石市レッドリスト」は 2019 年に作成されました。その内容を市民の皆さんにより広く知っていただいて、この大切な生き物の保全に役立てていただくということで作ったものです。

この生き物、小学生でも分かるというふうに配慮した内容で、「レッドリスト」に出ています 277 種類、全部の写真は集まらなかったんですが、全部網羅したという、非常にガイドブックとしては優れたものができたと思っています。

これをどういうふうに活用するかが問題ですが、印刷は取りあえず 1,000 部しかしてないということで、特に子供たちとか、そういうところに全部配るとか、どういうふうに活用したらいいかということ、ぜひ明石市にご意見を頂きたいと思っています。

2 番目に議論しましたのは、毎年、自然環境調査をやっております。別紙 2 が資料です。今年度は海岸・河口域の自然生態調査について、一昨年に調査ができなかった海岸、大蔵海岸ですとか朝霧川河口を調査しました。

その結果がこの表裏の表にまとまっています。内容の細かいことは説明しませんが、おととの調査と含めて、「レッドリスト」に出ている種類が 20 種類も見つかったということで、明石の海岸、とても貴重な自然が残されていることが明らかになりました。そのデータを明石市データベース化しておりますが、それに追加すると同時に、今後の保全に役立てていければと思っています。

この自然環境調査、来年度はどうかと、どこを調査するかが3番目の話題で、令和4年度は、金ヶ崎公園の調査をしてはどうかという提案をしました。金ヶ崎公園は17年前に調査した後、調査ができていません。最近、ナラ枯れ等が進んで、今後どうしていったらいいのかも含めて、いろんな問題を抱えていますので、もう一度きっちり調査をして、今後のことを考えていくということです。これは、ぜひ調査実施できればいいと思っております。

4番目は、生物多様性あかし戦略推進会議の進捗状況についてです。

2点だけ説明します。1つは、大久保北部遊休地の自然環境調査についてと書いてありますが、これは大久保町の北部の市の所有地を、ちょっと開発の計画もあるということで、その自然環境調査を、あかし戦略の推進会議のメンバーで行った結果が報告されました。いろいろと貴重といいますか、あの地域にしか残っていない生き物もいることが分かっています。この調査は、今後も継続して行う予定とのことでした。

もう一点、明石市近辺で問題になっているのは、特定外来生物のナガエツルノゲイトウが、ため池ですとか河川水路で繁茂しています。これは、新聞では淡路島のため息で繁茂して問題になっていることがよく出ていますが、実は明石市近辺でもどんどん増えていまして、これは非常に厄介な外来水草だということが分かっています、なかなか根絶できません。放っておくとどんどん増えて、これ以上拡大したら、特に水田なんかに入ったら始末に負えないということで、他の県で問題になっていますので、一生懸命駆除活動をしているところです。

これは行政だけじゃなくて、NPOの皆さんとか、ぜひ市民の方のボランティアも期待しないと、労力が足りない状況ですので、そういう実情も含めて、どういう取組をしているかということが報告されました。以上です。

○委員C 自然環境部会は本当に精緻な調査、ずっと毎年やられていて、本当にすごいなと思います。このガイドブックができていますが、消費者団体とか市民団体で使っていただければと思いますが、どんな活用法があるかということも、また議論できればと思います。今、これを使ってみようという人はありますか。これまた持ち帰っていただいて、頑張ってやっていただければ、非常にいいものができるなと思います。何か質問がありますでしょうか、聞いてみたいとか。

○委員L とてもすばらしいガイドブックだと思うので、ぜひ子供たちにもこれを使って、身近な自然の調査をまず体験してほしいなど、今、これ拝見して、すごく思いました。

1,000部が少ないような気がするのですが、気のせいでしょうか。

○委員D いや、少ないというのは、これは予算の残額でやった、こんなこと言っているのか知りませんが。今年度の業務は、これをとにかく作成することで、印刷は当初予算にあまり入ってなかったみたいなんです。残った予算で、取りあえず1,000部作ったんですが、小学生が使うには足りませんので、ぜひ今後、どういうふうに活用するかを含めて、予算取りも含めて御検討いただきたいと思っています。

○委員L 審議会の中で拝見させていただいて、ぜひそういうところで使っていただきたいという意見を持ちましたので、意見を申し上げますということでよろしいですか。そうすると予算上がるかもしれません。よろしくお願いします。

○委員C 今日の議題については以上ですけど、今年度最後ですので、1分間で一言だけ、環境基本計画と廃棄物処理の基本計画をやられて、どんなことを感じられたか、感想だけをお願いしていきたいと思います。

委員A、よろしいですか。一言だけ言っていただければと思います。

○委員A 一番議論になったウエディングケーキについては、1つ言葉として抜けているのは、要するに、いい環境がないと健全な形の経済発展もない、「健全な」というところが言葉として抜けているので、議員さんの議論の中で、ちょっとピントのずれた議論になっていたのではないかなと私は思っていますので、やはりウエディングケーキモデルはうまくできていると思っています。

○委員D 私も、ウエディングケーキモデルを残そうということで、合意できたのは非常によかったと思います。これは価値観の問題ではなくて、やはり健全な環境がなければ経済も社会も成り立たないのは事実といえますか、最近、いろんな研究で明らかにされていることですので、それをはっきり言っていったらいいと思います。

○委員E 一言の感想です。コロナの状況でなかなか集まることができなかった中で、一応、年度末、こういう形でピリオドが打てたのは、本当に行政の方々含め、感謝ということで、お疲れさまでした。ありがとうございました。

○委員F 同じ話になるんですけど、本当に取りまとめのほう、本当に様々な角度からのご意見もあろうかと思っています。それはそれでいいと思っており、取りまとめるのが非常に大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。

○委員B この審議会に参加させていただきまして、日頃、あまり使わない言葉の定義とか、そういったことをいろいろ参考にさせていただきまして、今後もSDGs、いろ

いろ市として取り組んでいることに、もっともっと積極的に関心を持って、ご協力できるところをさせていただきたいと思います。また、明石市連合まちづくり協議会の中でも、こういう話を報告させてもらいたいと思っています。

○委員H 今まで脱炭素とか再エネ、あまりクローズアップされてなかったんですが、これだけ行政も推進していく姿勢を明確にさせていただいて、例えば市役所の計画とか、具体的に入れていかれるという方針を明確にされたことで、これがだんだん市民へ浸透していったって、エネルギーの地産地消といいますか、そういうことが進む方向に向かっていくなと実感できておると思います。今後とも、またどんどん進めていただきたいと思います。以上です。

○委員I 皆さん、ありがとうございます。すごく行政の方とか審議会の皆さんと議論を進めて、とてもいい環境基本計画ができていって思いました。

せっかくなので、これをこれから広めていったりとか、市民の方に興味を持ってもらうことが必要だなと思って、パブリックコメントもすごくいい意見が出ていたんですけど、人数がすごく少ないなって思いました。すごく興味がある人はいっぱい調べて、いろいろ意見を伝えてくれて、全く興味のない人とか知らない人についても、何か上手に伝えていくようなことを、1人の母親としても、そういうことをやっていきたいなって思いました。

○委員J どうもありがとうございました。こういう形で、本当に明石市に長く住んでおりましたら、住みやすい明石と思っておりましたけど、皆さん方にいろいろなご意見を頂きましたし、こういう見方もあるんだとか、いろいろ勉強させていただきました。消費者団体という立場から参加させていただいておりますが、やはり一番私たちが思うのは、今、ごみ問題とか食品ロスとか、できる範囲内で会としても、また活動を広げていきたいといういろいろ感じました。どうもありがとうございました。

○委員N ありがとうございます。私も、初めて明石市のこういう審議会に参加させていただきまして、いろんな意味で勉強をいろいろさせていただきました。

非常に立派な環境基本計画できましたので、これが絵に描いた餅にならないように、本当の意味での、市民も行政も本当にやっていけるといえるのか、具体的な行動に結びつけるように、ぜひPDCAを実践していただければありがたいと思います。

○委員M 私も明石市以外、東播磨の2市町の委員でいろんなところ出ていますけど、これだけいろんな分野の方に非常に熱心にいろんなご意見を出していただいている、こう

いった審議会はないと思います。本当にいい計画ができたなと思っていますので、ぜひこれからも東播磨を引っ張っていただきたいと思います。そうなるように県も一緒にやっていきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○委員P 環境審議会、結構長く座っているような気がするんですけども、いつも審議会の中ででき上がったら、おなか一杯になってしまって、次のことがなかなかアクションとしては動かせないというか、確かにできたことに関しての発信力も乏しいときがあるので、市民に対する発信力も大事だし、庁内、特に今回SDGsが絡んでいますので、教育委員会の指導、指示も環境部が率先してやっていただきたいと思っています。教育委員会は学校を抱えていますので、子供たちの教育にSDGs入れておりますが、その学校の中で、給食センターの中も、例えばプラスチックの容器を安易に使っているとか無駄に使っている部分も多いので、この4月からもプラスチックに関しては新しく法律も出ていますので、地方行政にとってのサインとかもう少し考え直して、もう一歩進んだ明石だったらいいなと思っております。

どうも皆さん、御苦労さまでした。そして、環境部の皆さん、どうもありがとうございました。以上です。

○委員C どうも皆さん、いろんないい意見を頂いて、これでまとめることができました。ただ、私のほうもあっち向いたりこっち向いたり、なかなか集約ができ切れなくて、御迷惑を多々かけたかと思えますけど、皆さんいい意見を頂いて、本当にありがとうございました。これから、またよろしくお願いいたします。

○委員L 何人かの委員の方からも出ましたけど、つくって終わりじゃないということですよ。これを、これからいろんな市民とか事業者の方にどういうふうに生かしていただくか、その工夫が大切かなと思います。

温暖化防止の観点で言いますと、目標がものすごいハードルが高いんです。だから、いろんな角度からされないと、とてもその目標には達せないなと思っています。きっかけとしては、こういう計画がつくられたときがすごくいいきっかけかなと思うので、これをどういうふうに浸透していくかということが、次の課題かなと思いました。

もう一つは、明石市さんって人口が増えているんですよ。この流入といいますか、入ってこられる方をどう明石イズムに持っていくか、環境の面でいうところも、やっぱり工夫が必要かなと思いながらお聞きしておりました。

委員の皆様にもものすごくいろいろな御意見を頂きましたというか、いろいろ教えてい

ただくこともあって、私自身本当に勉強させていただきました。ありがとうございました。また、ここまでにする、事務局の方が本当に大変だったと思いますので、改めてここでお礼申し上げたいと思います。いろいろ難しいこともあったかもしれませんが、何とかいい形でまとめられて、これも会長のお力でございます。本当に会長もありがとうございました。

というわけで、皆さん、本当にありがとうございました。

○委員C どうもありがとうございました。それでは、本日の審議会、これで終了とします。事務局にお返ししますので、よろしくお願いします。

○司会（事務局H） 委員C、どうもありがとうございました。また、委員の皆様方、熱心にご議論をいただきまして、ありがとうございます。

なお、本日の御意見を踏まえた計画（案）を修正した後、会長から市長へ答申いただきまして、計画の策定という流れとなっています。そのような形で進めさせていただきます。

本日の審議会はこれで終了となります。どうもありがとうございました。